

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表:2024年2月29日

事業所名 フレンズ淡路

保護者等数(児童数) 1 回収数 1 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1					保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1					スタッフ不足を解消出来る様に募集などかけて補います
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1					保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1					
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	1					これまで以上に意識して作成していきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	1					送迎時にその日の出来事をお伝えします
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1					イベント行事などで交流の機会を増やしていきます
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	1					今まで通り丁寧に説明してまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	1					今まで通り丁寧に説明してまいります。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている				1		今後研修などを行いより一層努力致します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1					子どもの状態や課題について理解し、お話しする機会を作ります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1					必要に応じ面談の機会を増やします
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1					保護者会を開催する予定です
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	1					これまでと同様にスタッフ一同で話し合い、適切に対応できるよう努めていきます	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	1					これまでと同様に十分な配慮がなされているか、振り返りも含め対応していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	1					自己評価の開示はホームページと事業所内に掲示する予定です
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	1					スタッフ一同、重要なことだと認識しております。これまでと同様に適切に取り扱っていきます
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている			2			防犯等の取り組みについてのお知らせを定期的に配布します
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている			2			毎月の避難訓練を続けていきます
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	1					これまでと同様に一番は楽しめる居場所であることを意識して努めていきます
	23	事業所の支援に満足している	1					これまで以上に保護者様の声に真意に向き合いより満足していただけるよう努めていきます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 2024年 2月29日

事業所名 フレンズ淡路 保護者等数(児童数) 9 回収数 6 割合 66 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1			保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	2		女性が足りないときがある。	スタッフ不足を解消出来る様に募集などかけて補います	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1			保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6				これまで以上に意識して作成していきます	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6				送迎時にその日の出来事をお伝えします	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2		最近、機会が減っている。	イベント行事などで交流の機会を増やしていきます	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				これまで以上に意識していきます	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1			子どもの状態や課題について理解し、お話する機会を作ります。	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2			必要に応じ面談の機会を増やします	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2		最近、機会が減っているように感じる。	保護者会を開催する予定です	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				これまでと同様にスタッフ一同で話し合い、適切に対応できるように努めていきます	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				これまでと同様に十分な配慮がなされているか、振り返りも含め対応していきます。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6				自己評価の開示はホームページと事業所内に掲示する予定です	
	14	個人情報に十分注意しているか	6				スタッフ一同、重要なことだと認識しております。これまでと同様に適切に取り扱っています	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1			防犯等の取り組みについてのお知らせを定期的に配布します	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6				毎月の避難訓練を続けていきます	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6				これまでと同様に一番は楽しめる居場所であることを意識して努めていきます	
	18	事業所の支援に満足しているか	6				これまで以上に保護者様の声に真意に向き合いより満足していただけるよう努めて	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

公表: 2024年2月29日

事業所名 フレンズ淡路

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			配置換えでのスペースの確保を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切である	2	2	個々のスキルアップを目指します。	増員するため求人を行っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4			給湯器の導入を検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃を行っております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1		PDCAサイクルを意識して業務に取り組みます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			これまでと同様にアンケートを行い、業務改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			事業所内の掲示とホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価機関の利用を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			昨年は参加できなかった外部研修への参加を増やす予定です。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			これまでと同様に丁寧に言い、作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			これまでと同様に独自のアセスメントシートを活用します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		ガイドラインを使い定期的に研修を行っております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		定期的に会議しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			これまでと同様に行っていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			活動の記録を取り、固定化しないよう工夫していきます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4			長期休暇には個別の目標を設定し、支援する予定です。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		これまでと同様に丁寧に作成していきます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		朝礼時にその日の打ち合わせを行っていきます。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		これまでと同様に朝終礼時に話し合っていきます。	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		これまでと同様に記録を取り、支援につなげていきます。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		これまで通りガイドラインの総則を意識した支援を行っていきます。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保育園などと定期的に連絡を取っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2		連絡を取り情報共有できるようにいたします。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		連絡会などに参加し連携しております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		地域のイベントなどに参加しております。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4			これまで通り、積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			これまで通り、保護者様の気持ちに寄り添えるよう努めています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4			ペアレントトレーニングについての研修などを受けて支援できるよう努めていきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			これまで通り、丁寧な説明を心掛けていきます。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			これまで通り、丁寧に説明を行い、同意を得るようにいたします。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			助言や支援ができるよう、個々のレベルアップを目指し、研修などを行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			感染症まん延防止対策の一環で行えておりません。状況に応じて行う方法を模索してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			これまで通り、迅速なLINEでの情報共有と記録の作成を行ってまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			これまで通り、月1回のフレンズ通信と事業所インスタ、Twitterで発信してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			これまで通り十分注意して取扱ってまいります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			より一層、配慮を心掛けてまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		感染症まん延防止対策の一環で行えておりません。状況に応じて行事を開催する方法
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			緊急時の取り組みについてのお知らせを配布します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			これまで通り行ってまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			これまで通り行ってまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			アセスメントシートにて確認してまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			お互いに指摘し合い、ヒヤリハット集の作成をしてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		定期的にスタッフ全員研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			これまで通り、身体拘束適正化委員会を中心に対応してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月29日

事業所名 フレンズ淡路

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			配置換えでのスペースの確保を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切である	2	2	個々のスキルアップを目指します。	増員するため求人を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			給湯器の導入を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1		PDCAサイクルを意識して業務に取り組みます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			これまでと同様にアンケートを行い、業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			事業所内の掲示とホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価機関の利用を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			昨年は参加できなかった外部研修への参加を増やす予定です。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			これまでと同様に丁寧に、作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			これまでと同様に独自のアセスメントシートを活用します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			これまでと同様に行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			活動の記録を取り、固定化しないよう工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			長期休暇には個別の目標を設定し、支援する予定です。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			長期休暇には個別の目標を設定し、支援する予定です。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			これまでと同様に丁寧に作成していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			朝礼時にその日の打ち合わせを行っていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			これまでと同様に朝終礼時に話し合っていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			これまでと同様に記録を取り、支援につなげていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			これまで通りガイドラインの総則を意識した支援を行っていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児童発達支援管理責任者が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			日々確認し調整しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			保育園などと定期的に連絡を取っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2		連絡を取り情報共有できるようにいたします。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			連絡会などに参加し連携しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4			地域のイベントなどに参加しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			これまで通り、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			これまで通り、保護者様の気持ちに寄り添えるよう努めていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			ペアレント・トレーニングについての研修などを受けて支援できるよう努めていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			これまで通り、丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			助言や支援ができるよう、個々のレベルアップを目指し、研修などを行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		感染症まん延防止対策の一環で行っておりません。状況に応じて行う方法を模索していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			これまで通り、迅速なLINEでの情報共有と記録の作成を行っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			これまで通り、月1回のフレンズ通信と事業所インスタ、Twitterで発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	4			これまで通り十分注意して取扱っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			より一層、配慮を心掛けていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		感染症まん延防止対策の一環で行っておりません。状況に応じて行事を開催する方法を模索していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		緊急時の取り組みについてのお知らせを配布します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		これまで通り行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	定期的スタッフ全員研修を行います。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		これまで通り、身体拘束適正化委員会を中心に対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		アセスメントシートにて確認していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		お互いに指摘し合い、ヒヤリハット集の作成をしていきます。